

南京玉すだれ(深谷市民大学校友会連絡協議会)26. 9. 17

深谷市民文化センター小ホール

大澤健さん(福祉環境科・深谷市民大学校友会連絡協議会副会長)から校友会の集まりに「南京玉すだれ」を演じてほしいという申し出をいただいたのが、確か6月の頃でした。

4月から始めた「玉すだれクラブ」で、「玉すだれ」の基本動作の習得に取り組んではみたものの、人前で披露する自信と心構えができていない状態でお引き受けしました。

この申し出をいただき練習にも更に拍車がかかり、臨時の練習日も設け特訓しました。

これまでのクラブは、7月22日と9月8日の美里敬愛園(美里町)での2回の公演だけです。今度は元気一杯の校友会の方々が観客者で、しかも大きな舞台に立っての公演で、どこまでやれるか不安一杯でした。

当日 8:30 分集合を 30 分早め、8:00に集まり、屋外で最後の練習をしました。

8:30に会場に入り、舞台での練習をしました。9:00から市長さんらの挨拶のセレモニーに続き、最初の演技に「玉すだれ」が選ばれ演じました。

今回はこの夏、秩父地域で「玉すだれ」を演じている方から指導を受けた「麦畑」で、2人組みになって演じるものです。色気とユーモアを含む新作です。

先ず古典的「玉すだれ」の口上の後、観客の手拍子をいただきスタートしました。練習では上手に演じていたものの、「すだれ」が戻らないなど苦戦しました。

その後「麦畑」の演技では、不慣れの事もあって一部不揃いのところもありましたが、かえって爆笑と手拍子、更に激励の掛け声が飛び交い、会場は和やかな雰囲気がつくれ、「玉すだれ」の効果が十分発揮されました。

後日、大澤健さんから「皆さん大変喜んでいました。ハワイアンより良かったですよ。」というお誉めのメールをいただきました。これからもっと腕を上げ、お客を楽しませる演技を考えていきたいと話しています。





